

令和7年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(前期)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養				
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。				
本年度の重点目標 ①積極的な情報発信 ②危機管理意識の高揚 ③順心の良さを小中学校にアピール ④生きる力の育成 ⑤社会生活に適応する力の育成 ⑥自己管理の育成 ⑦第一志望校を目指させる指導				
重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
①積極的な情報発信	SNSの活用	(1) 具体的方策 インスタグラムでの情報発信を中心に、積極的な情報発信に努める。		
		(2) 具体的指標 インスタグラムの投稿数が年間100回以上となることを目標にする。 100回以上 … A 75回以上 … B 75回未満 … C		
②危機管理意識の高揚	体験型防災訓練・不審者対策防犯訓練の実施	(1) 具体的方策 体験型防災訓練及び不審者対策防犯訓練を実施し、生徒及び職員の危機管理意識を高める。		
		(2) 具体的指標 防災訓練及び防犯訓練後にアンケートを実施し、「役に立った」と感じる生徒・職員が80%以上を目標にする。 80%以上 … A 70%以上 … B 70%未満 … C		
③順心の良さを小中学校にアピール	学校訪問の数、学校説明会等への参加者数	(1) 具体的方策 ア 学校訪問の数を昨年より増やす。 イ 魅力ある説明会を開き、参加者を増やす。		
		(2) 具体的指標 ア 学校訪問を年5回実施 … A 学校訪問を4回実施 … B 学校訪問を3回実施 … C イ 学校説明会参加者が昨年より増えた … A 学校説明会の参加者が昨年と同じ … B 学校説明会の参加者が昨年を下回った … C ※ 参加者 = 保護者+生徒		

重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
④生きる力の育成	I C T を活用した教育環境の整備	(1) 具体的方策 生徒が授業を通してタブレットを活用した教育活動に取り組める環境を整備する。		
		(2) 具体的指標 生徒が授業中にスマートフォンやタブレットを使用する場面を担当する全授業に対して半分以上の頻度で設けることができた教員が 5割以上 … A 2割以上 … B 2割未満 … C		
	キャリア教育の充実	(1) 具体的方策 総合的な探究の時間で使用する探究プログラム（Inspire High）を活用し、生徒が自分の考えを論理的に整理し、他者に伝える力を養うことで、進路実現につなげる。		
		(2) 具体的指標 探究プログラム（Inspire High）が進学・就職試験のための準備に役立つ（高校3年生は実際に役立った）と思う生徒が 7割以上 … A 5割以上 … B 5割未満 … C		
⑤社会生活に適應する力の育成	「清楚・芳香・忍耐」の理解と実践	(1) 具体的方策 白梅精神に基づき教育目標「清楚・芳香・忍耐」の意味を理解させ、生徒一人ひとりが意欲的に取り組むことができるようにH Rや「Fujieda junshin check」で振り返らせ、課題解決に導く。 (2) 具体的指標 学期終了時に「Fujieda junshin chek」で自己評価させる。 「よくできた」「おおよそできた」と自己評価する生徒が 7割以上 … A 5割以上 7割未満 … B 5割未満 … C		
	礼法を身につけた、あらゆる場面での実践	(1) 具体的方策 講話・礼法・学校の規則・社会的ルールについて理解させ、基本的な生活習慣や自ら考える力を身につけさせる。 (2) 具体的指標 講話・礼法・校内外のルールについて理解し、講話の聴き方や態度、また移動時の行動、社会的ルールが身についており、教室を学びの場所として整理整頓を心がけている。 8割以上できている … A 6割以上 8割未満 … B 6割未満 … C		
⑥自己管理の育成	健康相談の充実と情報共有	(1) 具体的方策 健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。担任等と情報共有、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密に行い、生徒の学校生活がよりよいものとなるようにする。 (2) 具体的指標 学期終了時に生徒課の反省表「教育相談項目」にて、教員（スクールカウンセラー含）に相談できる生徒が 40%以上 … A 10%以上 40%未満 … B 10%未満 … C		

重点目標	評価項目	(1) 具体的方策 (2) 評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
⑦第一志望校を目指す指導	【進学】 実績の向上 & 学力の向上	(1) 具体的方策 ア チューター制指導の充実 小論文と面接（志望理由書）で担当を分ける。小論文は国語科以外の先生も得意分野を担当する。 イ 看護医療系対策 ・看護模試の受験 ・1日ナース体験への参加 ウ 学習スペースの設置 職員室前東ロビーに机と椅子を設置し、個別指導を受けられる環境にする。 (2) 具体的指標 ア 国公立大学に5名以上、中堅以上の私大に10名以上合格させる。（中堅私大とは河合塾全国偏差値47.5以上の大学とする。） イ 模試で全国偏差値50以上の生徒をクラスで特進は50%以上、総進は10%以上。 ウ 全学年、スタディサプリ到達度テスト正解率60%以上 達成項目 3つ … A 達成項目 2つ … B 達成項目 1つ以下 … C		
	【就職】 「自分で選んで就職先を決めた」と実感できる指導	(1) 具体的方策 ア 3月末の合同企業説明会（県武道館）、5月の企業説明会（本校）、6月のオンライン企業説明会（生徒個人）、昨年度の求人票の提供などで生徒が企業情報を入手できるようにする。 イ 求人票受付初日から求人票をWebで閲覧できるようにする。 ウ 職種別の求人票一覧表を生徒に配布して、自分が就きたい職種の求人票が見られるようにする。 (2) 具体的指標 ア 就職内定者に対して就職に関する情報収集量や就職活動に関する10項目のアンケートを行う。 イ アンケートは就職希望者が全員内定したら実施する。12月までに全員内定しなければ、1月に内定者だけでアンケートを実施する。 実感できた生徒が 90%以上 … A 80%～89% … B 80%未満 … C		